

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年4月10日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4679200099
法人名	有限会社 こぼれ陽
事業所名	グループホーム こぼれ陽
所在地	鹿児島県大島郡天城町天城783番地 (電話) 0997-85-4073
自己評価作成日	平成27年2月17日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成27年3月7日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・ 基本的生活習慣の充実(自然食品の利用、野菜、果物は自家製)
- ・ 排泄(食物繊維の多い食材を使用し薬に頼らない。水分補給に留意)
- ・ 睡眠(入眠前に温かい飲み物を摂取)
- ・ 清潔(毎朝ハーブを煮出し、全身清拭をし肌トラブルの防止に努めている)
- ・ 心のケア(各食事前の祈り、朝食後沈黙し静かな時間を作る様にしている)

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・ 当グループホームは近隣との交流を大切にし、地域に密着している。自然の恵みや健康のリズムを大切にしながら、利用者の心の安定に努め、認知症ケアの支援を行っている。
- ・ 裏庭に様々な果樹や野菜などが植えてあり、季節ごとの作物が収穫できる。ニワトリなどが放し飼いされており、落ち着いた生活環境となっている。
- ・ 管理者は地域の認知症ケア実践のリーダーとして、認知症高齢者を支える為の基盤整備や研修活動に積極的に参加し、認知症ケアの普及とサービスの質向上に貢献している。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ．理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	私たちの理念は施設内外に対しても共有できるもので、職場や家庭、地域において実践し置かれた状況のなかで実践している	理念を施設内に掲示し、職員全員がその意味を理解し共有しながら、利用者一人ひとりを尊重し日々のケアを実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域福祉アドバイザーの一員として集落の高齢者宅を訪問し、見守り交流をしています。	近所の知人・友人の訪問があったり、利用者と一緒にゴミ出しをした時や散歩時に挨拶を交わしたり、地域住民から野菜の差し入れを頂く等、近隣や地域と日常的な交流が図れている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	認知症サポーター養成講座を行ったり、認知症相談窓口として電話、訪問などを受け付けている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今年度からは評価の場としての運営推進会議ではなく、利用者、家族、委員の参加の場としての取り組みを行いました	会議は定期的に行われ、利用者や家族・参加者が交流を深めながら活発な意見交換を行っている。協議で出た意見は、運営の中で反映できるように取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	包括ケア会議委員として参加、意見交換など連携した取り組みを行っている	災害時の受け入れについて、行政から相談があったり、運営上のアドバイスを受けたり、認知症サポーター研修の実施や地域包括ケア会議委員として会議に参加するなど、行政と連携した取り組みを行っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	利用者の安全を考えた取り組み、身体だけではなく口頭での拘束、抑圧などがないように気をつけている	居室の窓側に安全対策として柵の設置はあるが、ベッド柵や部屋のドアなど動作の制限がないようにしている。身体的な拘束だけでなく、命令口調や抑制的な言動に注意して無理強いしないようにしている。外出時には制止せず、職員が見守りながら自由に行動できるようにしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員間での話し合いの場を持ち情報を共有し、防止できる環境を取っている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	誰が何のために必要なのかを、話し合い、学習している		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	十分に納得が得られた時に契約を締結している		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	職場での情報の共有、運営推進会議での公表を行っている	面会等の際に、個別でお茶を飲みながら行事の写真等を見たりして、懇談の中から意見や要望を聞いている。要望等は可能な限り対応するように努めている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	定期的なミーティング、日誌等への記載など日々努めている	管理者は月1回の職員会議やミーティング等で意見交換を随時行い、職員の勤務体制等についても意見を聞いている。他人の部屋に入る利用者の対応の仕方について話し合う等、ケアの向上や実践につなげている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	介護職へのやりがいについて、職場での話し合いの場を設けている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	定期的な宿題や、課題、研修等を行いレベルの向上を行っている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	島内のGH合同の研修会の実施、懇親会を開催している		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	体験入所を行い、ご本人、ご家族に納得して入所頂けるように努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前の家庭訪問、施設見学などを通して話し合いの場を多く取れるように努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事前ヒヤリングからご本人、ご家族の要望を実現できるように共に考えている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	できること、したいことを共に考え、ケアを実践している		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	外出、一時帰宅（盆・正月・冠婚葬祭など）ご家族のご要望を優先して対応している		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人の希望を踏まえながら、できるだけ地域、社会活動へ参加してもらっている	本人が希望する外出や外泊が実現できるように働きかけている。職員でできるだけ対応を行い、家族へ会いに行ったりしてこれまでの関係が途切れないように支援している。家族の協力により、馴染みの美容院へ出かけたりもしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	食堂以外にも、利用者同士で集える場所を設けてある		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後の相談、訪問など気軽に行っている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	毎日、利用者ひとりひとりと、個別に話ができるような時間、場所を作るように努めている	足浴やお茶を飲みながらリラックスしている時に、ゆっくり会話し思いの把握に努めている。意思表示がない利用者は、スキンシップを心がけながら表情や行動を観察したり、面会時に家族の要望を聞き、本人中心の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人、ご家族などからお話を伺うようにしている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	職員は必ず、自分の目で利用者の状態を観察し、その後申し送りや日誌などで情報を共有している		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画の修正、状態の把握、ご家族、職員間での意見交換を積極的に行うようにしている	介護計画は本人や家族と話し合い、スタッフの意見を反映させながら介護計画を作成している。モニタリングを定期的に実施し、更新時や状態変化時にその都度見直している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の観察から、言葉や行動の奥にあるご本人の気持ちに重点をおきケアの共有を行っている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	冠婚葬祭への付き添い、施設でのご家族の宿泊、食事会、薬草や野菜のバザーへの出品など		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	施設菜園の利用、鶏の飼育、庭の手入れ、収穫や食材の準備などこれまでの生活の延長を考えた支援ができるようにしている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	毎月の定期往診により、協力医療機関との情報の共有をおこない、緊急時への対応にも備えている	本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。歯科受診はかかりつけ医の往診を行っている。協力医療機関の往診が毎月1回ある。状態変化時には連携が取れている。他科受診や臨時の受診は、家族の協力を得ながら必要な医療が受けられるように支援している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師が勤務しており、医療機関との情報共有に努めている。また介護職員の利用者の変化など看護師へ常に報告されている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	連携を取り合い、早期退院に向けて情報の交換、相談を行っている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	これまでの経験から看取り支援への方針の共有はできている。常に最善の支援ができるように心がけている	利用者の状態によって家族と相談して対応しており、これまで看取りの実績が数例ある。今後もホームでの許容範囲内で看取りの支援をしていく方針であり、職員もその方針を共有している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	避難訓練時に急変時への対応を検討し訓練を行っている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	事前連絡なしの訓練の実施など、災害時への対応は日頃から気を付けている。また近隣の避難受け入れ場所にもなっている	スプリンクラーは設置済みであり、日頃より火災対策には注意している。台風時期は食料や水等の備蓄の確保や停電対策を行い、災害時の地域住民の協力体制も整備できている。今年度は3町合同の避難訓練にも参加している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者の目線より下になるような声かけ。人生の先輩であるという尊敬を忘れない対応を心掛けている	着替えやポータブルトイレを使用する際は襖を閉めて行うなど本人の尊厳やプライバシーを守る支援を行っている。方言で話しかける時なども、敬いの気持ちを持って支援している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	着替えの際など、自分の好みを選んでいただいています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	待つ支援。急かさない、その方のペースに合わせた支援。せっかちな方へはそのペースに合わせて先回りした支援を心掛けている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	37番同様に好みを知り、合わせた支援を行っている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	茶碗、湯呑、箸など自宅で使用していた物を使っていたいています。食事の準備などそれぞれの能力に合わせた、お手伝いをお願いし、役割を担っていたいています	近隣住民から野菜の差し入れをいただいたり事業所で採れた野菜や果物を食材に取り入れている。正月にはお神酒やひなまつりには、散し寿司等、季節の行事に合わせて食事を楽しんでいる。個々の力量に応じて野菜の皮むきなどを職員と一緒にやっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分量には特に気をつけています。お茶の時間やテレビの時間、食事前、入浴後、起床時など水分摂取の時間を多く取っています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時、食後、就寝前と歯磨きを習慣的に行っています		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	日々の観察により、職員間で排泄パターンが共有できています。食事改善により薬に頼らない排便もできてきました。トイレやポータブルの使用により紙パンツの使用が減少している	日中は利用者それぞれの排泄パターンを把握して、個別に排泄誘導を行い、自立に向けた排泄支援を行っている。夜間は転倒予防のためにポータブルトイレを使用している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日の体操、食事改善により便秘が解消している		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	自宅と変わらず、希望通りに入浴、シャワーが利用できる	入浴は週2回であるが、入浴日以外でも本人が希望すればいつでも対応している。個人の愛用しているシャンプーなども用意している。毎朝ハーブによる清拭を行い、清潔保持に努めている。入浴をいやがる利用者には、時間をおいて声かけをする等、入浴支援を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼寝や居眠りを自室や思い思いの場所でされてます。それは、ここが安心できる場所なんだと感じる光景です		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師と情報を共有し服薬支援と状態の変化に気をつけている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	共同生活での役割の分担、個人の習慣など自宅ですてこられたことが延長できるように支援している		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	ごみ出しのお手伝い、スーパーへの買い物、ご主人との外食、庭の散歩や日光浴など日常的な外出ができる	日常的に庭の散策や近隣の散歩を職員が見守る中で行っている。週2回のゴミ出しにも一緒に出かけている。季節に応じて花見やドライブなども行い、家族と外食に出かけたり、利用者の希望を聞き外出支援を行っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族と協力し自己管理出来る方には持っていただき、管理できない方には、施設にて管理させて頂いている。スーパーでの買い物にも同行している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	家族理解のもと、電話の使用は自由で、手紙の代筆も行っている		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	民家改修型の施設で自宅の様な生活感があり、自然の光や風、食堂からは季節の花々を眺めることができ、庭を鶏が放し飼いされ懐かしい風景を楽しめる	共用空間の広いリビングから季節の風景や菜園を眺めることができる。懐かしい家庭的な雰囲気に溢れており、自然の風や光が差し込んでくる。利用者それぞれが好みのソファや椅子に座って、居心地良く過ごせるように工夫されている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂の他にも、利用者同士で集える場所があり、また庭を眺められるソファもあり、それぞれの場所で過ごすことができる		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	出来る限り、ご本人の物（簞笥、仏壇、布団など）を持ち込んで頂き、自宅に近い環境で生活して頂きたいと考えている	自宅で使用していた簞笥や炬燵・好きな小物を持ち込んだり、仏壇を安置して利用者が自宅で暮らしているかのような生活感や居心地の良さがある。畳の部屋では横になることもできる。落ち着いた居室となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレへの動線手すり、夜間排泄不安解消の為にポータブルトイレ、畳や布団など利用者の状態に合わせた生活環境を提供できるように努めている		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない